

大震災・復興ニュース（第104報）

平成25年4月18日

仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

○宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 1 測定年月日 平成25年4月12日～4月16日
- 2 測定分析機関 宮城県，いであ(株)，(財)日本食品分析センター，(公財)海洋生物環境研究所
- 3 測定及び対応結果 すべての検査品目について，基準値を下回り，安全性に問題のないことが確認されました。

●水産物（漁獲日 平成25年4月4日～4月16日） (単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
ソウハチ	雄勝湾沖	不検出	スズキ	松島湾	31
ツノナシオキアミ	泊浜沖	不検出	ヒガンフグ	石巻佐須浜沖	11
ツノナシオキアミ	新山沖	不検出	ヒガンフグ	石巻佐須浜沖	7.8
ツノナシオキアミ	鮫浦湾沖	不検出	ヒガンフグ	松島湾	不検出
マコガレイ	女川湾沖	不検出	ヒガンフグ	石巻佐須浜沖	12
マダラ	雄勝湾沖	不検出	ヒガンフグ	石巻佐須浜沖	不検出
イシガレイ	岩沼市二の倉沖	15	ヒガンフグ	石巻佐須浜沖	13
コウナゴ	山元沖	不検出	ヒガンフグ	石巻佐須浜沖	9.2
コウナゴ	仙台湾	不検出	ヒラメ	宮城県沖	7.6
コウナゴ	仙台湾	不検出	ヒラメ	名取関上沖	32
コウナゴ	仙台市荒浜沖	不検出	マダラ	宮城県沖	4.4
コウナゴ	仙台市荒浜沖	不検出	マダラ	松島湾	73
スケトウダラ	宮城県沖	不検出			

※ 放射性物質の値は漁獲日における値を示す

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

○小学生によるサケ放流体験学習

・4月16日（火）に阿武隈川支流の内川で，阿武隈川漁業協同組合が育てたさけ稚魚約1万尾が放流されました。当日は丸森町立金山小学校の5～6年生18名が，当部職員を講師にさけます増殖事業の勉強をしながら，放流体験を行いました。桜の花びらが舞い散る中，元気に泳ぐさけ稚魚を楽しく見送りました。



職員によるサケ増殖についての説明



サケ放流体験の様子

○ノリの入札状況

- ・4月16日（火）に行われた第18回のノリ入札会の結果は以下のとおりです。

数量：28,441千枚，金額：149,719千円，平均落札価格：5.26円／枚，最高値：宮戸支所産6.48円／枚

- ・これまでの累計結果は以下のとおりです。

数量：343,320千枚（前年同期比311%），金額：2,566,372千円（前年同期比238%）

累積平均単価：7.48円／枚（前年同期までの76%）

○ムラサキイガイの出荷自主規制措置について

・今回，宮城県南部海域産ムラサキイガイの貝毒を分析した結果，下記のとおり国の規制値を上回る麻痺性貝毒が検出されました。これにより宮城県南部海域産ムラサキイガイについては，平成25年4月16日付けで自主出荷規制措置を講じるよう，関係漁業協同組合に要請するとともに，関係都道府県及び流通関係機関等に通知しています。

- ・貝毒検査結果（ムイラサキイガイ）

海 域 名	検査判明年月日	麻痺性貝毒毒力（MU／g）
宮城県南部海域 （石巻市黒崎から山元町と福島県 新地町との境）	平成25年4月16日	33

規制値：麻痺性貝毒 4.0MU／gを超える値。 検査機関：日本冷凍食品検査協会仙台検査所

○派遣職員紹介

・今年度新たに仙台地方振興事務所水産漁港部に3名の職員が，国や県から派遣されました。宮城県の職員と同様によりしく願います。

氏名	清水 康弘（シミズ ヤスヒロ）	
派遣元	三重県	
配属先	水産振興班	
宮城県での職名	技術主幹	
派遣期間	H25. 4. 1～H26. 3. 31	
担当業務	災害復旧事業	
一言	三重県から参りました、清水です。 三重県で最も有名？な「伊勢神宮」のある，伊勢市からやってまいりました。伊勢神宮では今年10月に行われる遷宮に向けて，現在，いろいろなお祭りや行事が行われています。 3月初めに派遣の話があった時は，正直戸惑いもありました。でも，ここに来たからには，宮城の「おいしい魚」，「おいしいお米」をたくさん食べて，一生懸命，宮城県の復旧のため頑張りたいと思います。よろしく願います。	

- ・次回は，水産庁から派遣された戸倉晶さんを紹介します。